

庁議の概要

開催日 平成26年4月25日（金）

◎項目

- 1 平成26年7月広報計画について【総務部】
- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

◎内容

- 1 平成26年7月広報計画について【総務部】

総務部より、資料に基づき平成26年7月広報計画について説明が行われた。

- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○南海トラフ地震対策に関するポスター・標語の募集について

（危機管理部）

南海トラフ地震対策の推進に関して、1人ひとりに届くきめ細かな啓発として、27年度に津波からの早期避難の意識率100%を目指して様々な啓発活動に取り組んでいる。

今年は「南海トラフ地震に備えよう！」ということで、県内の小中学生・高校生などを対象に啓発ポスター・標語の募集を行う。今年5月～9月末までの間募集を行い、選ばれたものについて、ポスターは3,000枚をバスや電車に掲示する予定。標語については、「南海地震に備えちょき」としてFM高知でスポット放送をしており、その中で11月頃から活用していきたいと考えている。

○「高知家」プロモーション・セカンドシーズンについて

（産業振興推進部）

4月22日に「高知家」プロモーションの2年目がスタートした。昨年度は「高知家」をまず知ってもらおうということを主目的としていたが、今年はさらに高知県に対する理解を深めてもらって、県産品を買ってもらおう、高知に観光に来てもらおう、高知に住んでもらおうという3つを売り出すということを意図して、ロゴに「高知県のええもん、ぜんぶおすそわけ」という、キーメッセージを打ち出している。

4月22日に東京で「高知家おすそわけ記者発表会」を行った。テレビ11本、新聞スポーツ系7紙、ウェブニュース122本に取り上げていただき、スタートとしては上々の成果だったと考えている。これから1年間切れ目なく「高知家」プロモーションを展開し、県産品、観光、移住の3つの施策と連携してセットで売り出していくことになる。ポスターやロゴ、のぼりも新しいものを用意したので、各部局においては「高知家」プロモーション、そして商品のセールスをお願いしたい。

○女性創業塾について

(産業振興推進部)

今年度、女性の創業・起業を支援する初めての取り組みとして、4月19日に第1回目のスタートアップセミナーを行い、定員100名のところ、ほぼ定員いっぱいで開催することができた。2回目を5月10日に女性創業塾として、定員25名で開催することとしている。

○「2014 FIFAワールドカップ ブラジル パブリックビューイング in 高知桂浜」について

(観光振興部)

6月15日にサッカーワールドカップの日本代表の初戦であるコートジボワール戦について、桂浜でパブリックビューイングを行う。定員5,000人、入場料2,500円プラス税となっている。6月15日は全国6カ所でパブリックビューイングが行われるが、中四国・九州では高知だけとなっている。

○「土佐茶」について

(農業振興部)

土佐茶の振興について、平成21年度から取り組みを強化しており、高知市での消費量の倍増や知名度アップといった効果が出ている。今年度はホテル・旅館で使っていただくということに特に力を入れてやっていきたい。具体的には、各部屋に置いているティーバッグを土佐茶に変えていただく。宴会の際のウーロン茶を土佐茶、炙茶に変えていただくといった取り組みをしていく。

○業務の進め方等について

(知事)

4月・5月の新しい施策の立ち上げ段階は非常に重要な時期である。この時期の成否が、年間を通した仕事の成否に相当影響する時期だと思うので、スピード感を持った対応をよろしく願います。

これまでも話をしていることであるが、官民協働でないとできない仕事が多く、その官民協働ということのためにも広報をしっかりと頑張ってもらいたい。広報広聴課のメディアを使った広報を臨機応変に活用していただくとともに、関係する皆様のところに出向いて説明をさせていただくということを徹底していただきたいと思う。

ゴールデンウィークについては、うまく交替をしていただいて、それぞれ休みを取っていただければと思う。